

# 科学博物館で学ぶ

担当教員名 谷本 勉

## 1 コースの概要

日 程	2014年8月～2014年10月
場 所	各地の科学博物館
参加人数	12人

## 2 コースの目的

「科学博物館で学ぶ」は、グループ学習ではなく、あくまで原則個人参加のコースであり、各自がそれぞれの博物館でどのような企画・セミナーが計画されているかを調べ、参加するイベントを決定し、大学外の現場（フィールド）で環境問題等を学習することを目的とする。

## 3 事前学習

最初の説明会において詳細な実施要領を解説する。その後、各自が作成した事前の学習計画書を提出し、担当教員の指導を通して、参加するイベントについての理解を深める。

## 4 行程

1つのテーマが4時間以上のものを1日分の学習として認め、それ以下のものを半日分として、合計4日分の学習をすることを義務づけている。

たとえばSさんの場合は以下のような日程で学習した。

### 8月15日「国立科学博物館」

学習のテーマ：夜の天体観望公開

学習の目的：土星や二重星、星団、星雲を自分の目で観察し、構造を学ぶ。普段は天体観測をする機会がありませんので、この機会に少しでも宇宙について学び、考えたい。

### 8月21日「国立科学博物館」

学習のテーマ：菌類研修会

学習の目的：高校で学んだ基礎知識と照らしあわせながら菌類について学び、理解する。

### 8月31日「千葉県立中央博物館」

学習のテーマ：魚図鑑の写真撮影法

学習の目的：プロの生物カメラマンから生き物の正しい撮影方法を学ぶとともに、魚への知識も深める。こ

れをきっかけに生き物の様々な写真を撮影できるようになりたい。

### 9月7日「千葉県立中央博物館」

学習のテーマ：「カヤツリグサ科入門図鑑」の使い方

学習の目的：生態園でカヤツリグサやその他の野草に親しみ、今まではあまり意識しなかった植物たちに視点を向ける。

### 9月13日「千葉県立中央博物館」

学習のテーマ：水槽栽培の水生植物を触って比べよう

学習の目的：水槽栽培の仕方や水生植物の育て方を学ぶ。家のメダカの水槽に入れる水草の参考にしたい。

### 9月14日「国立科学博物館」

学習のテーマ：ワットの蒸気機関を読み解く

学習の目的：ワット自身が書いた特許の文面を実際に見て、読むことによってより理解を深める。

## 5 事後学習

参加したすべてのイベントについて、事後に学習報告書を提出し、担当教員の講評を通して、参加したイベントについての理解を更に深める。

## 6 雑感

参加するイベントを決定するまでが大変で、この段階で参加希望者の半分近くが挫折する。参加人数12人は最終的にやり終えた人の数である。個人参加の自由にはそれなりの責任と困難が伴うということである。



魚図鑑の写真撮影法①  
撮影前のカガミダイと標本用の針



魚図鑑の写真撮影法②  
全てのひれをきれいに伸ばしたら、針で体をとめる  
「きれいに撮れたかな？」